

## 事前評価個表

整理番号	5
------	---

地域（地区）名	きたかみがわじょうりゅう 北上川上流	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岩手県	対象市町村	もりおかし 盛岡市ほか5市町
事業実施期間	H28～H32（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、岩手県のほぼ中央部に位置し、東は北上高地、西は奥羽山脈で秋田県と接し、その中間に北上川流域の平坦部地を有する2市4町を包括する。</p> <p>本地区の森林面積は165千ha（森林率70%）、対象民有林は102千ha（森林全体の62%）、うち人工林は45千ha（人工林率45%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、Ⅷ～Ⅻ齢級が全体の62%を占めており、森林資源は成熟しつつある一方で、間伐が必要なⅣ～Ⅵ齢級の森林が39%を占めており、健全な森林を育成していくうえでも間伐等の森林整備が必要となっている。</p> <p>しかしながら、近年、林業採算性の低下や森林所有者の経営意欲の減退により、手入れが遅れた森林が増加するなど、森林のもつ水源涵養等の公益的機能の発揮に支障をきたすおそれがある。</p> <p>このため、北上川上流地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、意欲と実行力を有する林業事業者等による、集約化された計画的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>具体的には、本計画に基づき、本事業による効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,750ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：1,560,190千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.71 (総便益 (B) = 12,168,601千円、総費用 (C) = 2,132,296千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の公益的機能を高度に発揮させるための再造林や間伐等の計画であることから、必要な計画である。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：計画的な森林整備により水源涵養や国土保全等の機能の確保に加え、森林作業道の開設等により間伐材の搬出量の増加が期待されることから、有効な計画である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

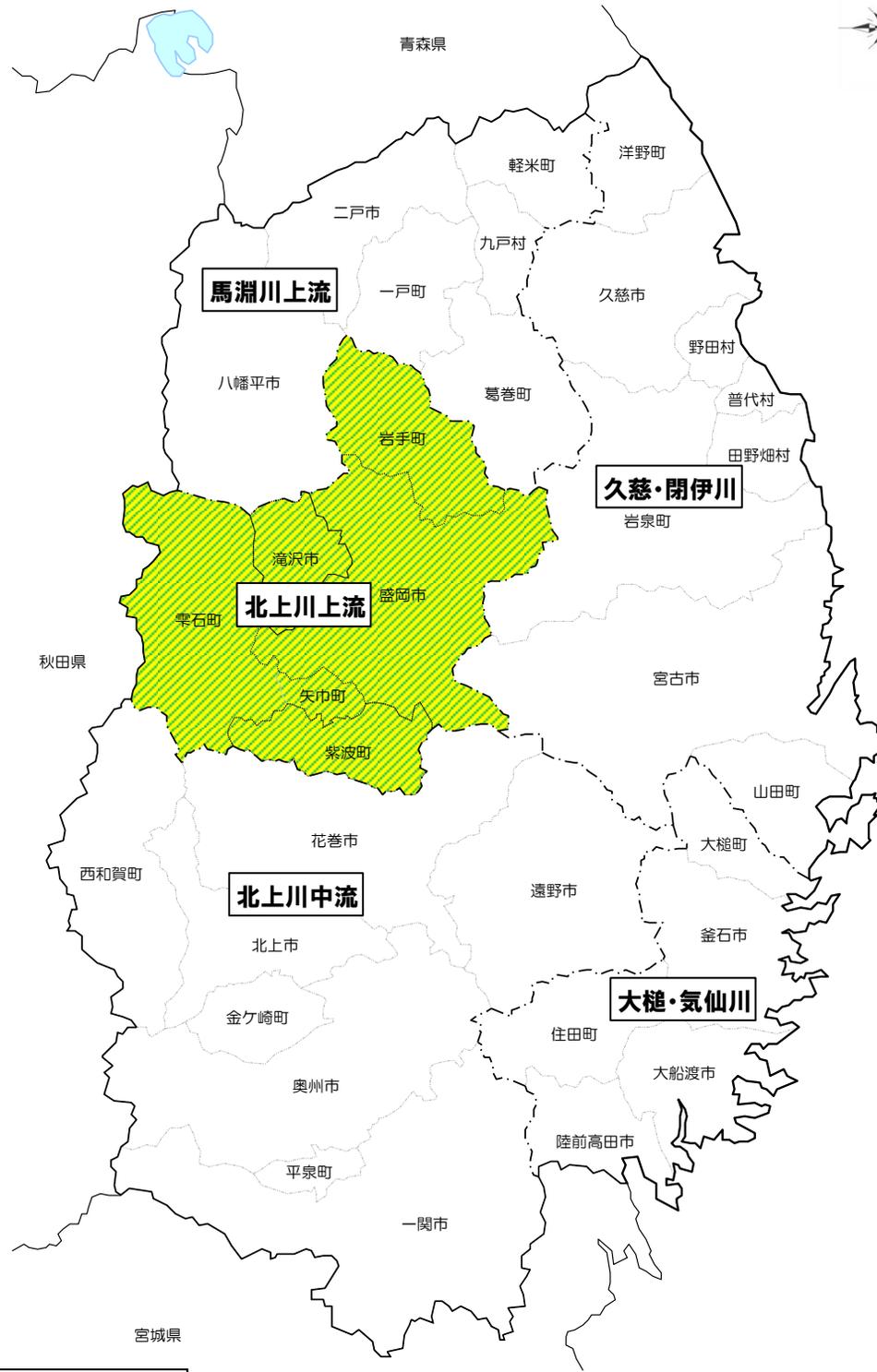
都道府県名: 岩手県

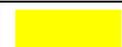
地域(地区)名: きたかみがわじょうりゅう北上川上流

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益 <small>かん</small>	洪水防止便益	2,738,882	
	流域貯水便益	673,299	
	水質浄化便益	1,499,604	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,384,105	
環境保全便益	炭素固定便益	2,303,270	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,569,441	
総 便 益 (B)		12,168,601	
総 費 用 (C)		2,132,296	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,168,601}{2,132,296} = 5.71$		

# 森林環境保全整備事業 北上川上流流域(岩手県)概要図



凡例	
	森林計画区界
	事業区域
	森林整備